

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	美術		
科目基礎情報							
科目番号	1A10		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	商船学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材	美術1: 野田弘志 (光村図書出版)						
担当教員	津川 奈菜						
到達目標							
美術の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 制作活動から個性的創造力と基礎的技能を習得する。 作品制作に取り組む事により、学習した観点を日常生活に生かすようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
絵画・色彩構成	自己を見つめて表現でき、鑑賞できる。		用具の使用方法を理解できる。		制作に意欲を持たない。		
明度分析によるデザイン	各自の発想を展開でき、創造的作品を制作する。		明度による分析手法を理解して制作にあたる。		デザイン表現について理解できない。		
木彫	作品制作にしっかり取り組み、完成度の高い作品を制作する。		木の特性と刃物の機能について理解できる。		課題を完成する事が出来ない。		
学科の到達目標項目との関係							
教養 D2							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	授業への取り組む姿勢を40%、制作作品は60%を目安として評価する。 (作品の完成をもって成果物実技の評価を行う。)						
注意点							
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス	芸術活動について理解できる。			
		2週	絵画 (色彩構成)	アクリル絵の具を使い、彩色できる。			
		3週	絵画 (色彩構成)				
		4週	絵画 (色彩構成)				
		5週	絵画 (アクリル絵の具で靴を描く)	靴の機能と働きについて理解する。			
		6週	絵画 (アクリル絵の具で靴を描く)	用具と表現技法を理解して描ける。			
		7週	絵画 (アクリル絵の具で靴を描く)				
		8週	絵画 (アクリル絵の具で靴を描く)	キャンパスに描き写せる。			
後期	2ndQ	9週	絵画 (完成)	作品を完成させる。			
		10週	絵画 (完成)	自他の作品を味わい鑑賞できる。			
		11週	明度分析によるデザイン	デザイン表現についての説明を理解できる。			
		12週	デザインパネルの使用	パネル張りの技術説明を理解できる。			
		13週	デザインパネルの使用	パネル張りの技術を実践できる。			
		14週	デザインワーク	各自の発想を展開できる。			
		15週	デザインワーク				
		16週	デザインワーク				
後期	3rdQ	1週	デザインワーク				
		2週	デザインパネル (完成)	作品を完成させる。			
		3週	デザインパネル (鑑賞)	自他の作品を味わい鑑賞できる。			
		4週	木彫 (表札)	木彫のついで説明を理解できる。			
		5週	木彫 (表札)	木の特性を理解できる。			
		6週	木彫 (表札)	刃物の機能について理解できる。			
		7週	木彫 (表札)	各自で作品制作に取り組める。			
		8週	木彫 (表札)				
	4thQ	9週	木彫 (表札)				
		10週	木彫 (表札)				
		11週	木彫 (表札)				
		12週	木彫 (表札)				
		13週	木彫 (表札)				
		14週	木彫 (表札)				
		15週	木彫 (完成)	作品を完成させる。			
		16週	木彫 (鑑賞)	自他の作品を味わい鑑賞できる。			
評価割合							
	試験	成果物	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	0	60	0	40	0	0	100
基礎的能力	0	60	0	0	0	0	60
態度・人間性	0	0	0	40	0	0	40
応用力	0	0	0	0	0	0	0